

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平 1-101779

⑬ Int. Cl.⁴
B 25 C 5/02

識別記号

庁内整理番号
Z-7712-3C

⑭ 公開 平成 1 年 (1989) 7 月 10 日

審査請求 未請求 (全 2 頁)

⑮ 考案の名称 ステープルクリンチャ

⑯ 実 願 昭 62-198839

⑰ 出 願 昭 62 (1987) 12 月 28 日

⑱ 考 案 者 秋 沢 信 行 東京都中央区日本橋箱崎町 6 番 6 号 マックス株式会社内
 ⑲ 考 案 者 亀 井 康 夫 東京都中央区日本橋箱崎町 6 番 6 号 マックス株式会社内
 ⑲ 考 案 者 金 井 俊 幸 東京都中央区日本橋箱崎町 6 番 6 号 マックス株式会社内
 ⑲ 考 案 者 工 藤 靖 則 東京都中央区日本橋箱崎町 6 番 6 号 マックス株式会社内
 ⑰ 出 願 人 マックス株式会社 東京都中央区日本橋箱崎町 6 番 6 号
 ⑲ 代 理 人 弁理士 瀬川 幹 夫

⑳ 実用新案登録請求の範囲

ステープルと略同幅の溝幅を有する折曲げ溝をはさんで相対向する第 1 の固定壁部材及び第 2 の固定壁部材と、上記折曲げ溝内に配置されて該折曲げ溝内に案内されたステープル脚の先端を折り曲げる可動クリンチャ部材とからなる一対のステープル脚折り曲げ手段を点対称となるように配置し、上記第 1 の固定壁部材には被綴り材を貫通したステープル脚の先端を上記折曲げ溝内に案内する傾斜面を形成し、上記可動クリンチャ部材を、その上端面が上記第 1 の固定壁部材の傾斜面の下端よりも下方の待機位置から上記第 2 の固定壁部材の上端面近傍までの範囲を移動可能に形成したことを特徴とするステープルクリンチャ。

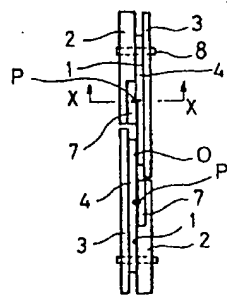
図面の簡単な説明

第 1 図は本考案に係るステープルクリンチャを備えたホツチキスのクリンチャ部の斜視図、第 2 図は上記ステープルクリンチャの平面図、第 3 図

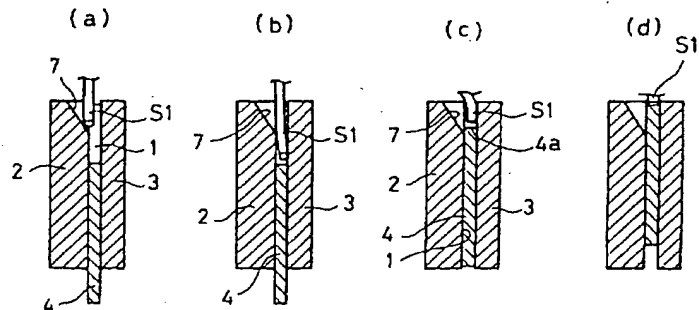
a, b, c, d はそれぞれ第 2 図の X-X 線上の断面により上記ステープルクリンチャによるステープル脚の折り曲げ態様を示す説明図、第 4 図はステープル脚の折り曲げ完了状態のステープルクリンチャの平面図、第 5 図 a, b は上記ステープルクリンチャにより折り曲げられたステープルの平面図及び側面図、第 6 図は従来のステープルクリンチャの平面図、第 7 図 a, b は上記従来のステープルクリンチャによるステープル脚の折り曲げ態様説明図であり、第 8 図 a, b はそれぞれ第 7 図の Y-Y 線上の断面により上記従来のステープルクリンチャによつて折り曲げられたステープルの平面図及び側面図である。

符号 A……折り曲げ手段、S1……ステープル脚、1……折曲げ溝、2……第 1 の固定壁部材、3……第 2 の固定壁部材、4……可動クリンチャ部材、7……傾斜面。

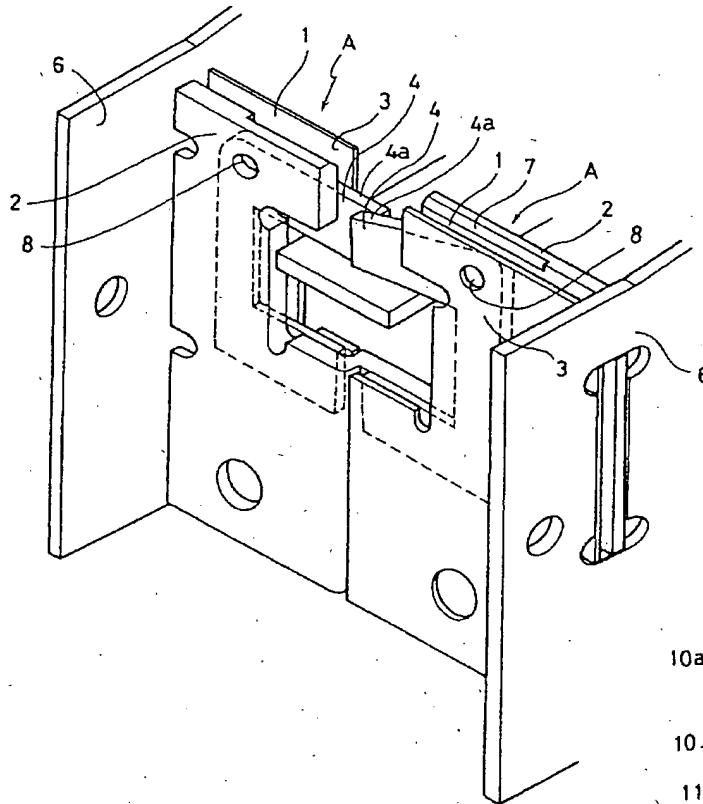
第 2 図



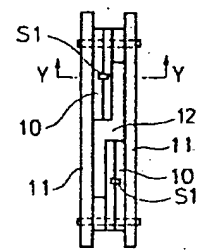
第 3 図



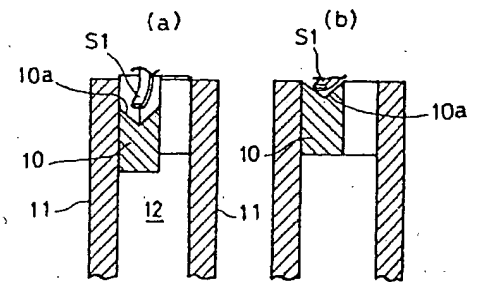
第1図



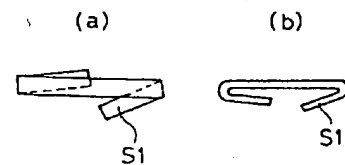
第6図



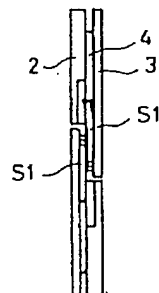
第7図



第8図



第4図



第5図

